

# 陸水総貯留量の算定に用いている JRA-25の水文量の季節変化再現性

重力班 気象研 仲江川敏之

## 本日の話題

1. この1年間の研究
2. 再現性の比較

# 今年行ったこと

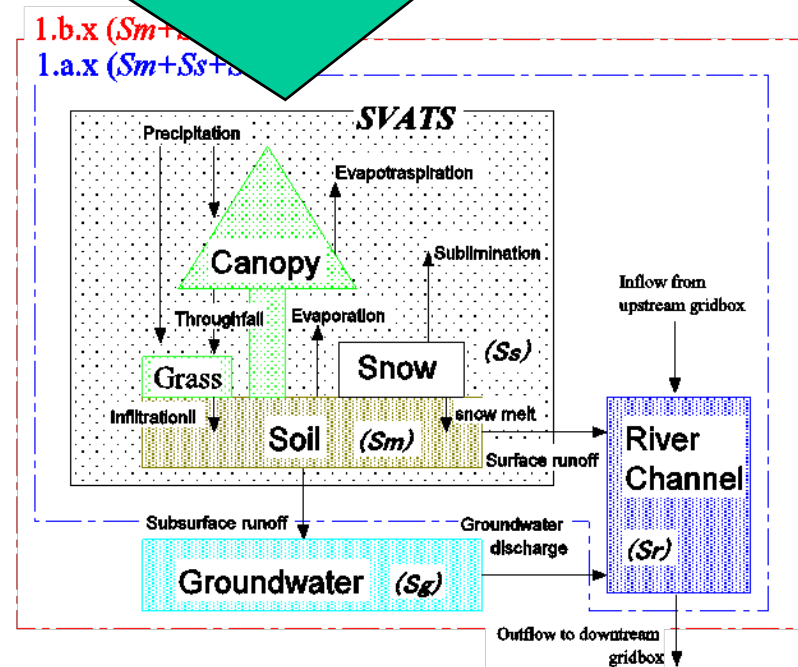
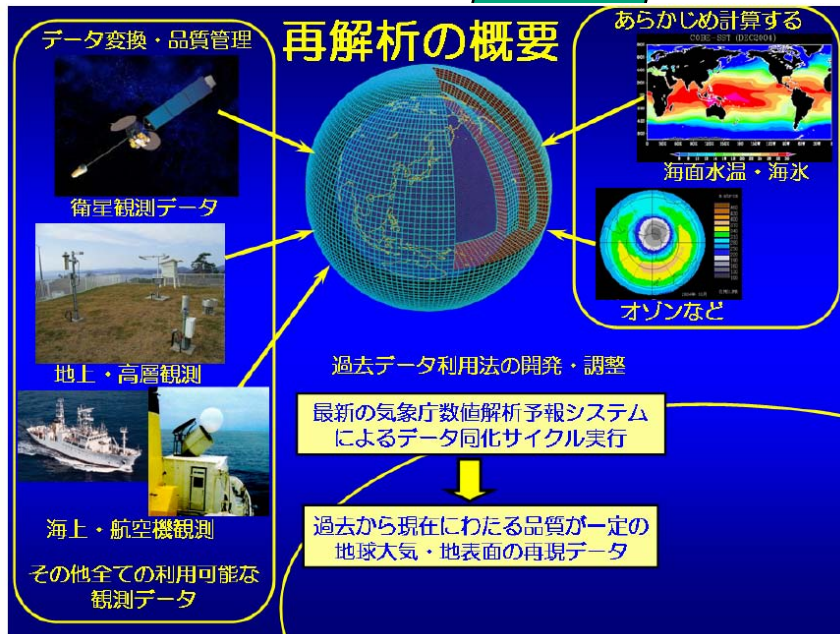
目覚ましい進展はありません

- 再解析データ(JRA-25)に不備が見つかり、再計算が行われたので、それに伴い、陸水総貯留量の再計算の実行
- 準リアルタイム(翌月上旬)で陸水総量を計算するシステム構築(半自動化)
- 昨年の全体会議で速報結果だけお見せした、結果の解析

今日の  
話題

# 陸水総貯留量推定システム

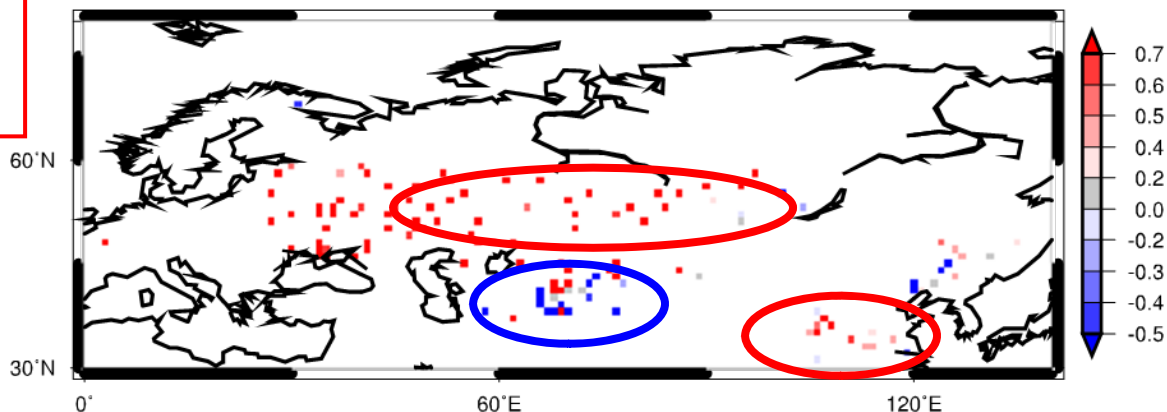
## 日本再解析: JRA-25



# 土壌水分量季節変化再現性

JRA-25 (現在利用中)

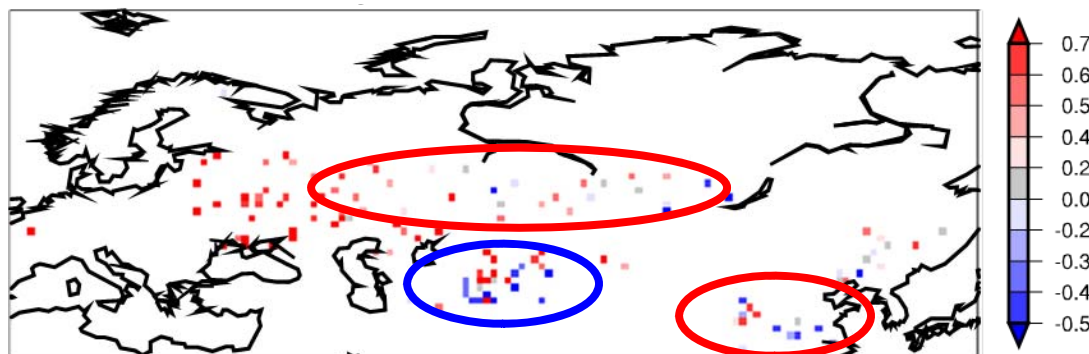
改善したところが多い



相関係数

現業解析 (本プロジェクト開始時利用)

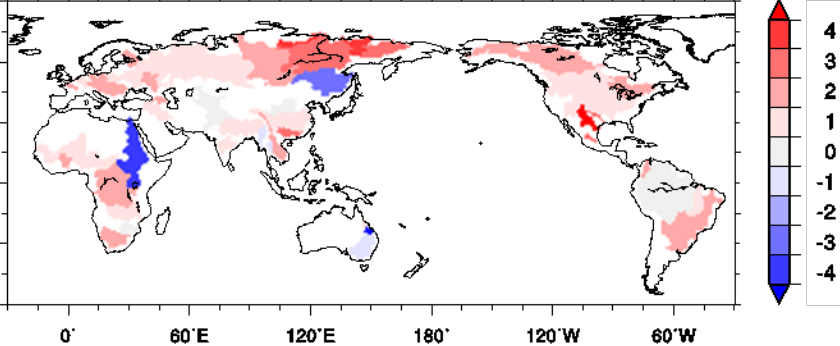
再現性が悪い所の原因  
究明中



# 陸水総貯留量の再現性

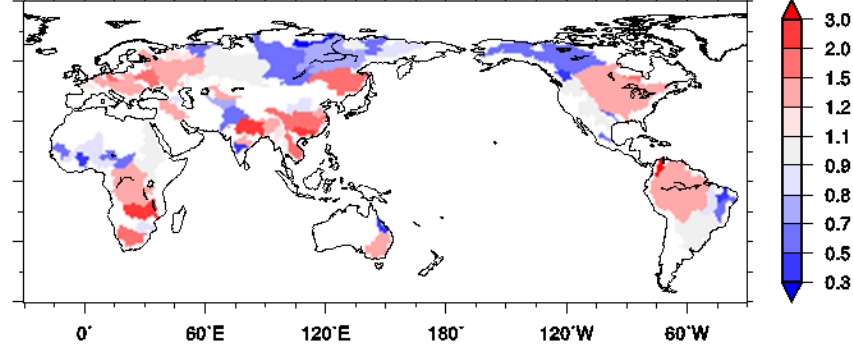
位相差 (モデル-観測)

(c) Lagged month (S-O) Terrestrial Water Storage



振幅比 (モデル/観測)

(a) SD ratio (S/O) Terrestrial Water Storage



	河川流量		陸水総貯留量	
	改善	悪化	改善	悪化

全ての流域ではないが、多くの流域で、陸水総貯留量は振幅、相関係数、位相差が、改善している

位相	56	4	18	7
----	----	---	----	---

# まとめ

- ・ 陸水総貯留量の算定に用いているJRA-25の水文量の季節変化再現性評価を行ったところ、土壌水分、河川流量、陸水総貯留量は、現業解析の結果よりも、再現性が高い

## 今後の課題

- ・ 陸面水文モデラー側に立った、GRACEで得られた陸水総貯留量とモデルの比較